

次期計画策定に向けた各種調査について

1 函館市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

目的	日常生活圏域ごとにおける被保険者の心身の状況、その置かれている環境その他の事情を正確に把握し、第8次函館市高齢者保健福祉計画・第7期函館市介護保険事業計画策定のための検討材料とするとともに、回答者へ結果アドバイス票を送付し、健康への意識を高めるきっかけとする。	
概要	(1) 対象者および調査数	
	対象者	調査数
	要支援・要介護認定を受けていない者	4, 550人
	要支援1・2の認定を受けている者	3, 450人
	(2) 調査方法 無作為抽出した対象者に、郵送により調査票を配布し、回収 (調査期間：平成28年11月16日～12月27日)	
	(3) 調査項目数 65問(必須項目33問, オプション項目および市独自項目32問) 《設問内容》家族・生活状況, 運動, 口腔・栄養, 物忘れ, 閉じこもり, 地域活動など	
実施方法	業者委託 【委託先：(株)エスト・コーポレーション】 《業務内容》調査票等の印刷, 回答内容の入力, 不備問合せ, 集計・分析, 報告書作成作業等	

2 在宅介護実態調査

目的	次期介護保険事業計画の策定において、「介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要か」といった観点も盛り込むため、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスのあり方を検討する。	
概要	(1) 対象者 在宅で生活をしている要支援・要介護者のうち「更新申請・区分変更申請をしている者」で、当該調査期間中に認定調査を受ける者	
	(2) 調査方法 市内の居宅介護支援事業所の認定調査員による聞き取り調査 (調査期間：平成28年12月1日～平成29年1月31日)	
	(3) 調査件数 600件	
	(4) 調査項目数 19問(基本項目9問+オプション項目10問) 《設問内容》【A票】家族等からの介護の状況, 在宅生活に必要なサービス, 施設入所の検討状況, 傷病の有無, 介護サービス利用の有無など 【B票】介護者の勤務形態, 仕事と介護の両立に効果的な支援内容など	
その他	厚生労働省から提供される「自動集計分析ソフト」を使用して報告書を作成(平成29年3月配布予定)	